

第 6 章 計画の推進に当たって

第6章 計画の推進に当たって

1 計画の進捗管理

(1) 進捗状況の把握及び評価(子ども・子育て会議の役割)

本計画を実効性のあるものとして推進するためには、計画に基づく施策の進捗状況とともに、計画全体の成果を検証することが重要です。

また、市民の視点に立った成果を把握するため、千歳市子ども・子育て支援アンケート調査結果をもとに、計画全体の成果指標を設定しています。

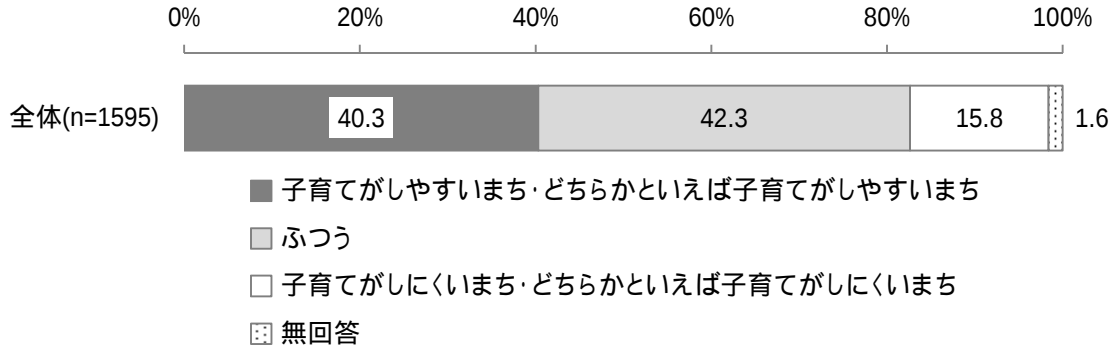
これらの検証は、「千歳市子ども・子育て会議」において、その進捗状況を確認・評価していきます。

【計画全体の成果指標の設定】

指標項目	現状値	目標値
千歳市は「子育てがしやすいまち」または「どちらかといえば子育てがしやすいまち」と思う人の割合	40.3% (平成30年度)	50.0% (令和5年度)

千歳市子ども・子育て支援アンケート調査結果より成果指標を設定

【子ども・子育て支援アンケートの結果】(27ページ参照)



未就学児及び小学生の子ども保護者 3,000 件のうち、1,595 件からの意見

(2) 需給調整の見直し

施策の実施に当たっては、柔軟で総合的な取組が必要であることから、検証した結果に基づき、必要に応じ改善を図るため、各年度、施策の検証を行い、計画と実績に乖離が生じた場合は、中間年の令和4年に計画を修正していきます。

また、5年後の最終年度には、次期計画に向けた見直しの中で、以降の教育・保育の一体的な提供の推進に関する需給調整のあり方について検討します。

2 計画推進に向けた関係機関の役割

計画の推進に当たっては、保育・教育事業に対する市民のニーズに応えていくため、必要なサービスの量の確保・拡大と多様化も含む質の向上の実現を目指していきます。

このため、市内関係機関と連携して横断的な施策に取り組むとともに、認定こども園・保育所・幼稚園などの子ども・子育て支援事業者、学校、市民などの多くの方の意見を取り入れながら取組を広げていきます。

3 財政基盤の確立

本計画を推進するためには、それを支える財政基盤の確立が重要となります。

そこで、本計画の推進に当たっては、その費用対効果を十分に見極め、財源の配分と組織の運営を効率的・効果的に行っていくよう努めます。